

名島保育園を旅立つ子ども達

山口恭子

いよいよ A さんは、卒園の時期を迎えました。

名島保育園で過ごした子どもたちは、これからどのような生命の道筋を辿って成長していくのでしょうか？
モンテッソーリは、子どもを観察して科学的に成長を捉えました。ご紹介させていただきます。

0歳～6歳（乳幼児期）

【自分で出来る様に手伝ってください】

驚くべきパワーですべてを吸収し、人格の基礎を作り、心を育む大切な時期です。

環境の中で自由に能動的に動くこと、手を使い集中することで「自分でできた！」という体験を積み重ね
自分自身を創っていきます。

6歳～12歳（児童期）

【自分で考えられるように手伝ってください】

宇宙のように広い現実、世界を吸収したい時期です。

小学校過程は、学びの基礎です。この時期に「世界でたった一人の私」が築かれます。

自分で考えて解決を見だし、独自のアイデアを持つ。心では道徳観念が芽生えます。

仲間との特別な絆のような連帯感が生まれて、分かち合う喜びを学びます。

12歳～18歳（思春期）

【あなたと共にできるように（ひとりでいられるように）手伝ってください】

心も体も大人へ向かって激しく変化する時期です。

ここでいうあなたとは、友であり、師であり、家庭、社会、環境、世界、と大きな輪への広がりを含みます。

18歳～24歳（青年期・成熟期）

【あなたのためにできるように（ひとりで生きられるように）手伝ってください】

自分の職業や専門分野に目覚める時期です。

自らの能力や情熱を使って、エゴではなく自分ではない誰かのために貢献できるような人に育っていきます

24歳～人生の最後まで

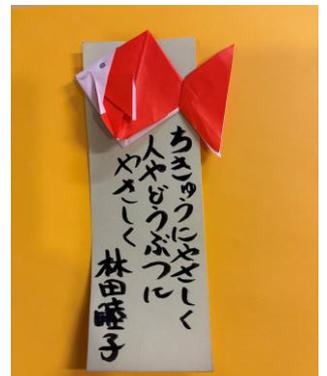
【私が私でいられるように手伝ってください】

生涯を通じて、自分は誰なのか？という根本的な問いに出会います。

この地球上での居場所を探し、天命を全うすべき存在なのです。

人には必ず生まれてきた役割があります。名島保育園で過ごしてきた子ども達は、
自分で考え選択することで思いやりに溢れ、誰かの役に立ちたいと思えるお子さんに
育っています。

大地に触れながら、食を慈しみ、地球の生命体を一緒に考えて、手を差し出せる人になって欲しいと願っています。
世界に大きく羽ばたいてください！



参考文献 『イタリアのモンテッソーリ教育』 マリアーニ綿貫愛香 著
『いのちのちから』 高根文雄 高根澄子